

新JICAの発足

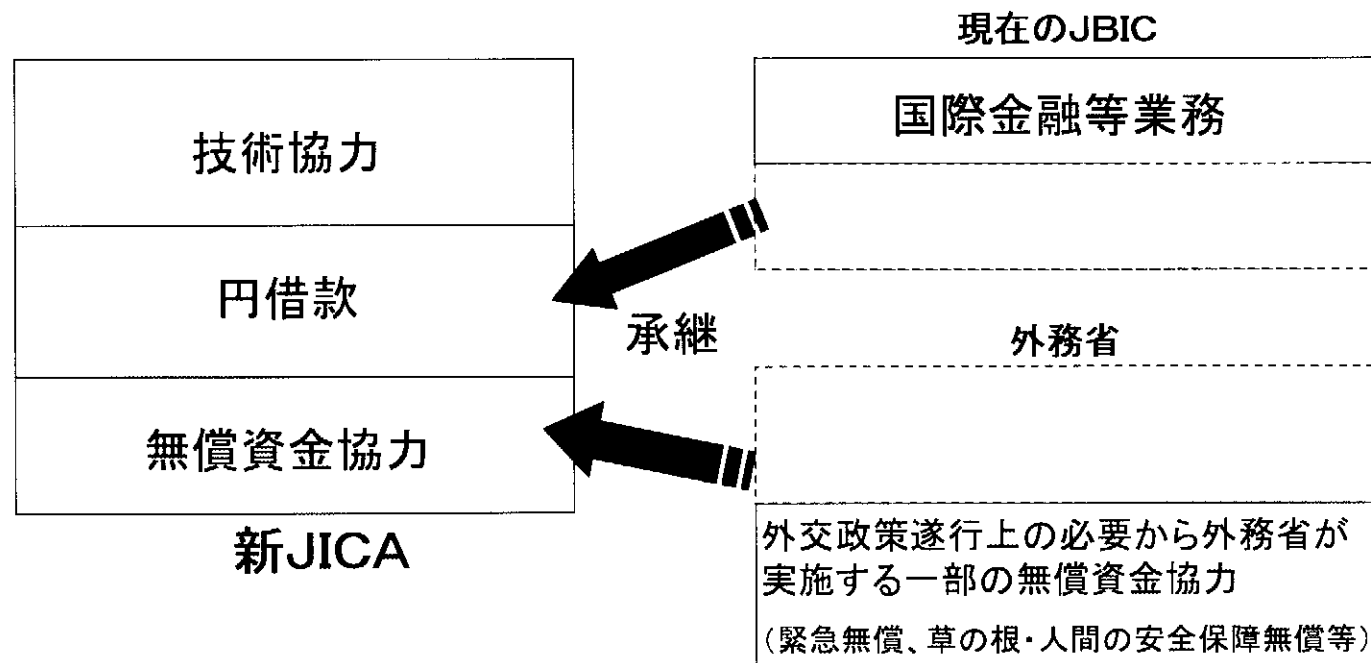
2008年12月2日

国際協力局

円借款、無償、技術協力の実施をJICAにて一元化

新JICA

- ✓ 新JICAはODAの3つの手法（円借款、無償、技術協力）を一元的に実施
- ✓ 援助の手法にとらわれない広い視野に立って案件を効率的に形成・実施
- ✓ 調査、ガイドライン、実施主体の窓口が一本化



統合のポイント

1. 業務面の一体化

- ✓ 政府が策定した戦略・政策に則り、地域担当部が司令塔となって、援助を機動的かつ迅速に実施

2. 組織面の一体化

- ✓ 地域を中心とした体制を確立し、各国・地域ごとに3つの援助スキームを跨ぎ、援助の全体像を管理

3. 人事制度の一本化

- ✓ 新JICAとしての新たな人事制度を構築、組織の一体感を醸成する
適材適所の人事配置

4. 現場主義に根ざした海外事務所体制

- ✓ 3つの援助スキームを現地で実施することにより、現場主義を引き続き推進

5. 統合による効率化効果

- ✓ 人員配置の効率化と国・地域を中心とした体制構築

新JICAと外務省との役割分担

明確な役割分担と緊密な連携

➤外務省：援助政策の策定

- ・海外経済協力会議の下、外交政策に沿ってODA政策の企画・立案を行い、ODAの重点課題や重点地域・国、供与目標額を設定し、機動的かつ迅速に援助を活用する。

➤新JICA：援助の実施

- ・重要な外交手段であるODAの実施機関として、政府の政策、開発途上国の需要を踏まえ、専門的・技術的知見を最大限発揮しつつ、援助を効果的かつ効率的に実施する。

➤緊密な連携

- ・外務省と新JICAは、明確な役割分担の下、援助の各局面において常に緊密に連携を図り、政策から実施に至る一貫性・整合性を確保する。

新JICAと外務省の業務の流れ

